

心にありがとうがあふれる委員会事業計画

委員長 飛田 泰二
副委員長 碓井 健
副委員長 大滝 邦洋
運営幹事 半田 誠治
会計幹事 渡邊 章

【基本方針】

現在、教育現場では未だにいじめや登校拒否などといった問題が多くあります。なぜこのようなことが起こってしまうのでしょうか。少子化や核家族といった家族構成の変化や、地域との関わりが減っていることにより、相手からおもいやりを持って接してもらう環境が少なくなってきたように感じます。子供たちがこれからの未来を他者と共存して生きていくためにも、今一度、相手をおもいやる気持ちを伝えていかなければなりません。

当委員会では初めに親と子供たちを対象に、感謝する大切さを共有していく事業を行います。多くの大人は価値観の多様化や道徳心が低下しつつあるため、子供と一緒にあって世の中から生かされていることへの感謝の気持ちを感じる機会にします。次に子供たちに向けて『ありがとう』の気持ちを表現する大切さを伝えます。子供たちに学校と協働して出前授業を実施することで感謝の気持ちを学んで頂きます。更に子供たちには未来を生きていくために生き抜く力を伝えます。学校での道徳教育だけでは学びきれない自然と触れ合う体験学習を行ない、子供たちが実際に五感を使って仲間と協力し合うことで助け合いの心を育てます。また子供たちにわんぱく相撲を開催し、相撲が持つ礼節の中で心の成長に必要なおもいやりを伝えます。予選会・県大会を行ない、スポーツを通じて困難に立ち向かい明るい未来の夢に挑戦する糧とします。最後に子供たち・家庭・地域に対して、今までの活動を通じて心から『ありがとう』の言葉が自然と出てくるまとめの事業を行います。これまでの感謝を目に見える形で集め、地域に『ありがとう』を広げていきます。

『ありがとう』は互いにおもいやりがあってこそ心から出てくる言葉です。この感謝の心が子供たちに広がることで、私たちのまちに『ありがとう』の笑顔があふれ、誰もが相手におもいやりをもって暮らす明るい豊かな社会の実現へ導くことができると確信します。

【委員会職務分掌】

1. 会員拡大への協力
2. 上越オクトーバーフェスト2015への参画
3. 3月担当例会の実施と報告
4. 学校との協働した出前授業実施と報告
5. 体験学習の実施と報告
6. わんぱく相撲の設営
7. 10月担当例会の実施と報告